

熊本大学学術リポジトリ

Kumamoto University Repository System

Title	陸上競技部々報 : 部報
Author(s)	綱脇
Citation	龍南, 229 : 115 - 117
Issue date	1934-11-25
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	http://hdl.handle.net/2298/7234
Right	

一年或は二年を送り、健全なる五高魂と流汗ほとばしる赤銅の腕とを武器として、今夏京都での全國で最高の大會であります全國高專排球大會に出場しました。

我部の戰跡を述べます。

第一次戰は東部高校の雄浦和高校と對戰し、輕く二セツトをものにして凱歌を挙げました。スコア (三十一―十六)

第二次戰は全國高校の豪であり、五高の宿敵である三高に當りリードしながら二セツト共敵に取られました。スコア (十七―二十一)

第二回戰は強敵廣高と對戰す。前日五高に勝算ありとの世評を裏切り、その日特にコンディション悪く敗退しました。

顧みるに全國のバレーの技術に於ける相違はスコアにより明かなる如く殆んどないのです。然るに我部は來年こそ五高排球部の黄金時代であります。この時にして全國征覇は目睫にありと言ふことが出來ませう。吾等一同は常緑の原東光原コートで孜々として技道に精進してゐます。

眞に龍南愛に燃ゆる八百の健兒諸君よ!! 今後の我部の前途を祝福して尙一層の御聲援を願ひます。

陸上競技部々報

綱 協 記

萬象默して秋氣正に酣に、紺碧の空高く澄み、秋風微に黃葉をゆらく、九月三十日(日曜日)水前寺グラウンドに於て、熊本三高專陸上競技大會行はる。意氣と熱とに満てる吾が龍南健兒、五高魂を遺憾なく發揮し、完全に高工、藥專をして再び立つ能はざらしむ。

戰績次の如し。

一〇〇米 戸島(文三乙)騎虎の勢にて大地を蹴立て、箭の如く一文字に獅突猪走し最後の頑張り物凄くテープを切る。タイム一一秒九、

一、五高 二、藥專 三、高工

二〇〇米 黃(文一乙)見事な輕快なフォーム、韋駄天走にてゴールにとび込む。タイム二三秒七、浦野(理二甲)三)日頃の實力出す、惜しくも三着となる。

一、五高 二、藥專 三、五高

四〇〇米 黃、得意の種目、同君の右に出づる者なく、ス

タートするや斷然トップをきり他校の選手をグン／＼引離し、悠々とゴールイン。タイム五五秒一

一、五高 二、藥專 三、高工

八〇〇米 友枝(理二甲一) 日頃の練習の結晶にて中長距離に燦然たる光を放てる同君、自信ある確固たるペース沈着、ラストの頑張りは到底他の追従を許さず一着。タイム二分一七秒二、

一、五高 二、藥專 三、高工

一五〇〇米 友枝、向ふところ敵なし、殆ど獨走の觀あり、二着を離すこと數十米にて悠然とテープを切る。タイム四分四六秒〇

一、五高 二、藥專 三、高工

高障礙 不破(理一乙) 俵(文三甲二) 共に我部が持つハードルの至寶、兩君の鮮かなハードリングよく極まり、不破一着、續いて俵二着となる。一着タイム一八秒六。

一、五高 二、五高 三、藥專

低障礙 俵、不破、日頃の練習の結果洗練された見事なフォーム一きは目立ち、他の選手と著しき對象をなす。俵、不破の順でゴールイン。一着タイム、二八秒二、

一、五高 二、五高 三、高工

四〇〇米繼走 浦野、黃、岸野(理二乙) 戸島、我完璧は他校を相手としては餘りに強過ぎ、巧なバトン、タツチと共に益々離し、天馬空を行くの概あり、十米以上も差をつけ、テープを切る。タイム四七秒九、

一、五高 二、藥專 三、高工

一六〇〇米繼走 白石(文三乙) 友枝、不破、黃、中距離の強豪健脚を網羅せる吾がチーム、前半は悠々リードせしが、樂觀し過ぎ、最後に胸一重の差で藥專に名を成さしめたるは誠に痛恨に堪へず。

一、藥專 二、五高 三、高工

走高跳 岸野、日方(文二甲三) 佐々木(文一甲一) 何れも吾が部の誇、錚々たるジャンパー、他校の輩は一米六〇で脆くも落ち、唯々傍觀の餘儀なきに至り、五高の天下、岸野一米七〇Aにて一等、日方、佐々木共に一米六五を樂に越ゆ。

一、五高 二、五高 三、五高

走巾跳 戸島、日方、日頃の實力に絶好のコンディション、レコード一回毎に伸び、戸島六米〇七にて一等、日

方六米〇にて二等となる。

一、五高 二、五高 三、高工

三段跳 戸島、綱脇（文二甲三）日方、力強き踏切りホツブ、輕妙なステツブ、飛躍頑張りのジャンプ、一跳一躍神に入り、最後の一跳遂に戸島主將をして一三米一〇の五高新記録を出さしむ。蓋同君の天稟のジャンプ力に加ふるに日頃の黙々たる猛練習の賜に外ならぬ。綱脇一二米三二、日方一二米一三にて、他校の者をして顔色なからしむ。

一、五高 二、五高 三、五高

棒高跳 岸野、大鶴（文一甲三）共に自信に満てる戦士。兩君の超人的空中の妙技は本大會に一偉彩を放ち、岸野は二米二〇A、大鶴三米一〇を悠然と超ゆ。

一、五高 二、五高 三、高工

圓盤抛 岸野、戸島共に屈強のスコアー、無雜作に虚空に抛り出されたる圓盤は宛も魂あるものゝ如く飛翔し、岸野は二七米八〇、戸島は二七米一五を投げたるも僅か五厘の差にて可惜高工に一等を奪はる。

一、高工 二、五高 三、五高

槍抛 大鶴、岸野、滿身の力もて投げ出せば、蒼穹高く一大圓弧を描きて飛ぶ銀線、遙かに群を抜き、レコード大鶴四〇米一四、岸野三九米八七、

一、五高 二、五高 三、高工

以上の如く、トラツクに於ては勿論、フィールドに至りては五高の獨り舞臺にして、得點は、五高の六一點に對し、高工一九點、藥專一六點にて、五高の大勝利となり、吾が部の一新紀元を劃す。これ幾多先輩の築き上げたる榮ある傳統と、戸島、岸野の萬能選手を初めとし、全部員のフアイティング、スピリツトに燃ゆる五高魂の發露に負ふところ最も大なりと雖も、龍南一千諸兄の熱烈なる後援に與つて力ありと信ず。勝つて兜の緒をしめ、憩らず慢らず、只管努力精進し明年こそ中原に駒をおし進め、吾が五高の名を海内に轟かせん。

かくて黃色ばめる豐穰肥後平野の一角託摩原頭に於ける戰捷の武夫原大亂舞は、東大阿蘇の峯々に木靈し、西金峯を掃すり、そのかみの面影を髣髴たらしめ、折からの一天雲なく晴れ渡れる秋空は吾々の前途を祝せるが如し。